

Canon

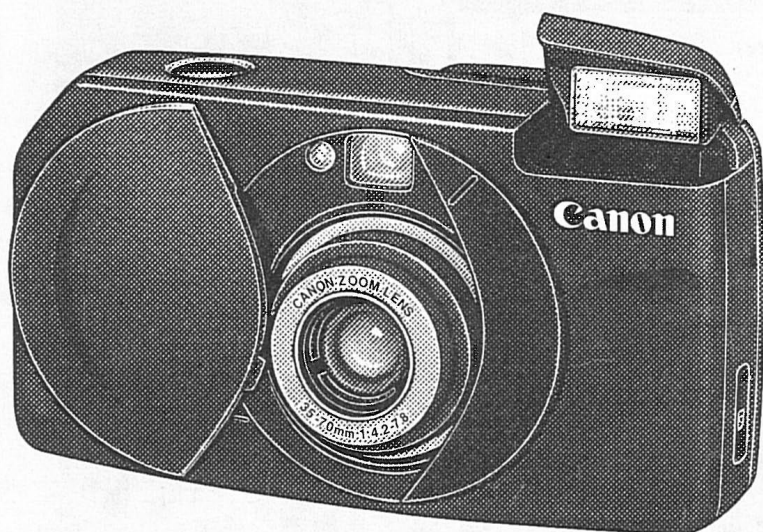
Autoboy Luna 35

はじめに

基本編

応用編

資料編



J
日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

カメラをご使用の前にこの使用説明書をよくお読みになり、カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使いください。

こんな特徴があります

35mm～70mmの高画質
2倍ズームレンズ



35mm



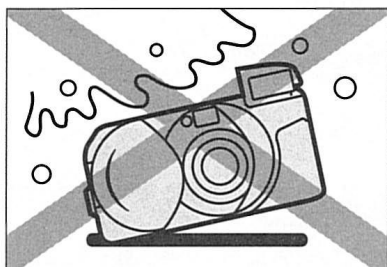
70mm

中抜けしにくいAiAF

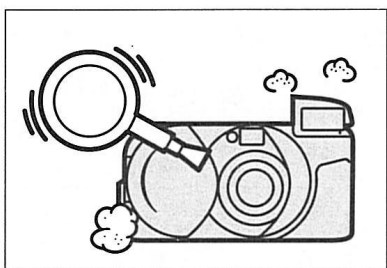
AiAF（オートフォーカス）機能が写したいものを自動的に判別してピントを合わせるので気軽に撮影することができます。



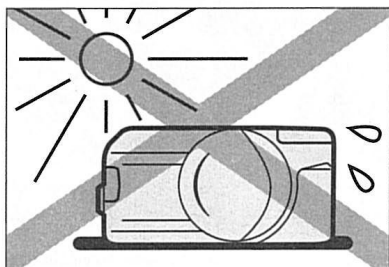
取り扱い上のご注意



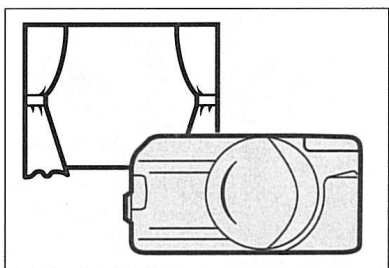
- このカメラは防水構造になっていませんので、雨天下や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。
- 水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風に当たったときは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。



- レンズやフィルム室内にゴミがついているときは、市販のブローブラシで吹き飛ばすだけにしてください。
- カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。



- 直射日光が当たる車の中は予想以上に高温になります。このようなところにカメラを放置しないでください。カメラの故障の原因となることがあります。
- カメラには高電圧回路が内蔵されています。危険ですので絶対に分解しないでください。



- カメラを長時間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。

目次

●本書の構成

この使用説明書は、基本編、応用編、資料編に構成してあります。

■本文中のマークについて



カメラを操作するうえで知っておいていただきたい事項が書かれています。



カメラ操作上あるいは撮影時のヒントが書かれています。

はじめに











こんな特徴があります	2
取り扱い上のご注意	3
目次	4
操作早わかり	6
各部の名称	9

基本編

カメラに慣れよう	10
①電源を入れる、切る	10
・電池をチェックする	11
②ファインダーをのぞく	12
③写したいものの大きさを決める	13
④シャッターをきる	14
・カメラの構え方	14
・緑ランプについて	15

フィルムを入れる	16
撮影する（全自動撮影）	18
AiAFについて	19
フィルムを取り出す	20
電池を交換する	21

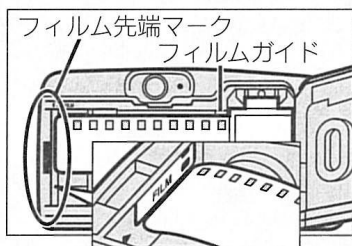
応用編

フォーカスロック撮影	22
（画面の端にピントを合わせて撮影する）	
一点測距撮影	23
（中央部にピントを合わせて撮影する）	
パノラマモード撮影 	24
パノラマプリントについて	25
日付／時刻を写し込む DATE	26
日付／時刻をセットする	27
ストロボモード  と赤目緩和モード 	28
赤目緩和撮影機能について	29
① ストロボオート／赤目緩和 	30
（暗いときは自動的に赤目緩和ランプを点灯し、ストロボを発光させる）	
② ストロボオート／赤目緩和なし	31
（暗いときは自動的にストロボを発光させる）	
③ ストロボONモード 	32
（明るい場所でストロボを発光させる）	
④ ストロボOFFモード 	33
（暗い場所でもストロボを発光させない）	
⑤ スローシンクロモード   	34
（夜景を背景にして人物を撮影する）	
セルフタイマー撮影 	35

資料編

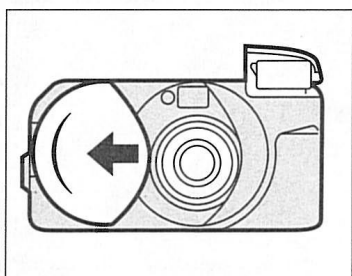
Q&A	36
こんなときは	37
主な仕様	38
アフターサービスについて	裏表紙

操作早わかり 詳しくは説明のページをご覧ください。



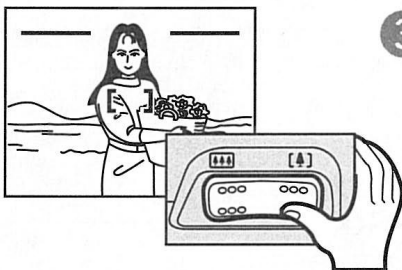
① フィルムを入れる。 →16ページ

- フィルム先端を先端マークに合わせます。



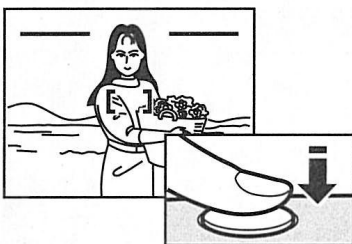
② レンズカバーを開く。 →10ページ

- カチッと音がするまで開けてください。
- ➔ レンズとストロボがセットされ、電源が入ります。



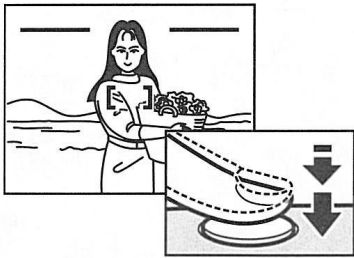
③ 写したいものの大きさを決める。 →12.13ページ

- パノラマ写真を撮るときは →24ページ
- 日付/時刻を写し込むときは →26ページ



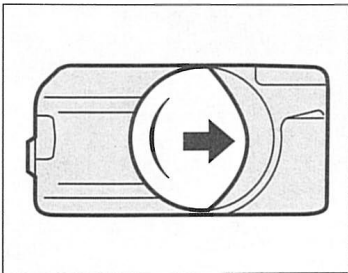
④ AFフレームを合わせ シャッターボタンを軽く押す。 →14ページ

- シャッターボタンは押したままにしてください。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。
- 緑ランプが点滅したら…… →15ページ



5 そのままさらに
シャッターボタンを押す。

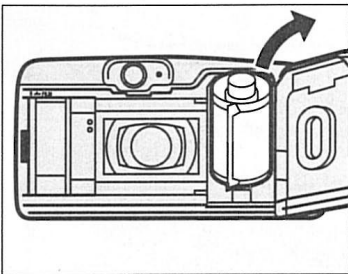
- 暗いところでは、ストロボが自動的に発光します。



6 レンズカバーを閉じる。

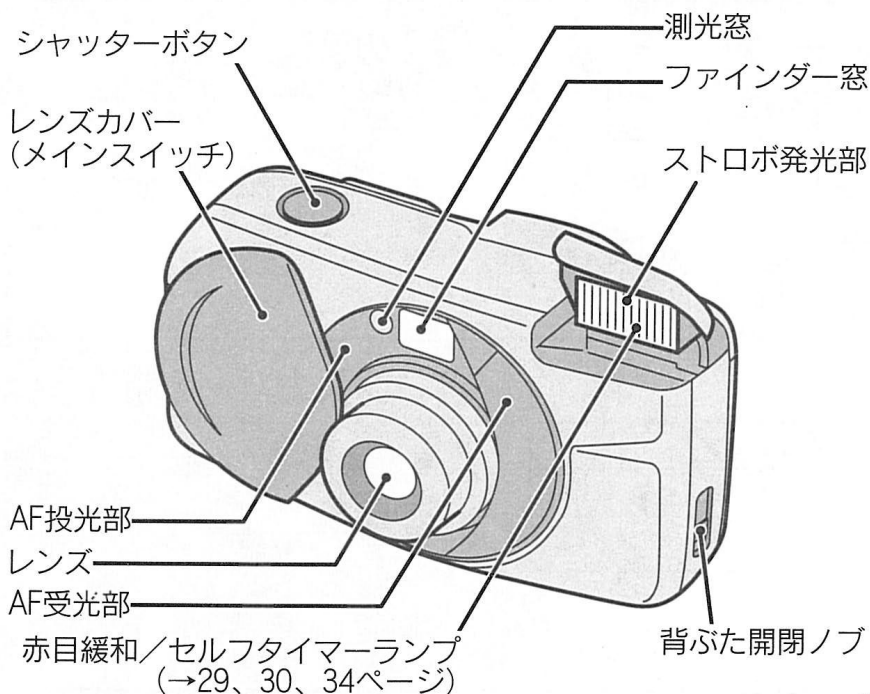
→10ページ

- カチッと音がするまで閉じてください。
- 電源が切れます。

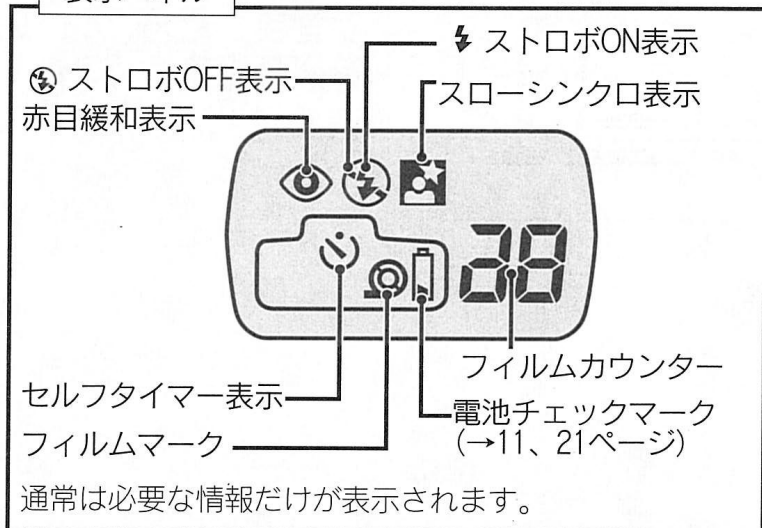


7 撮影が終わりフィルム
が巻戻ったら、フィルム
を取り出す。 →20ページ

各部の名称



表示パネル



日付写し込み表示



通常は必要な情報だけが表示されます。

デート表示パネル

緑ランプ
(→15ページ)
ファインダー

AAA (広角) / [4] (望遠) ズームレバー
(→13ページ)

ストラップ

ストラップ止め具

電池ふた

フィルム確認窓

三脚ねじ穴

パノラマ/標準切換ノブ(→24ページ)

途中巻き戻しボタン(→20ページ)

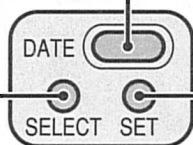
セルフタイマーボタン(→35ページ)

ストロボモードボタン(→28ページ)

デートボタン(デート切換)

(→26ページ)

セレクトボタン
(デート修正位置選択)

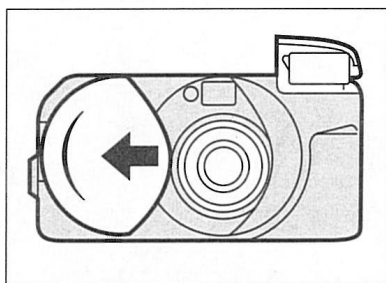


セットボタン
(デート数値セット)

1 電源を入れる、切る

レンズカバーを開閉すると、電源がON、OFFされます。

電源を入れる（レンズカバーを開く）



カチッと音がするまで
スライドさせる。

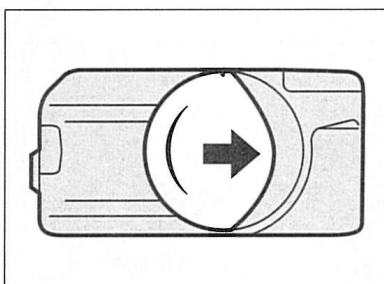
→レンズとストロボがセットされます。



- レンズははじめ広角35mmにセットされます。
- レンズとストロボがセットされないときは、正しく電池が入っているかを確認してください。
- ストロボやレンズを手で押さえないでください。


電源を切る（レンズカバーを閉じる）

レンズやストロボを保護するために、撮影が終わったらレンズカバーは必ず閉じてください。

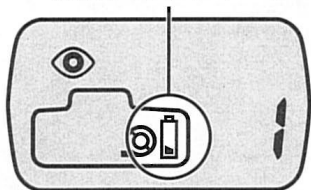


カチッと音がするまで
スライドさせる。




電池をチェックする

電源をいれたとき表示パネルに  が表示されていないことを確認してください。

電池チェックマーク



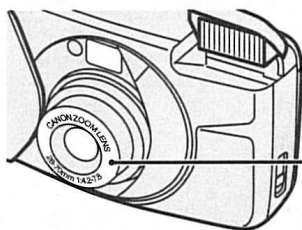
電池チェックマークについて

-  表示なし…電池は使用できます。
-  点灯……………新しい電池を用意してください。
-  点滅……………新しい電池と交換してください。(21ページ)



- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- 旅行のときや、写真をたくさん撮るときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。
- 24枚撮りのフィルムで約13本（ストロボ50%使用時／当社試験条件による）が撮影の目安です。

保護シールについて

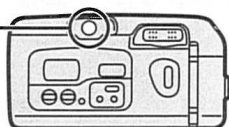


保護シール

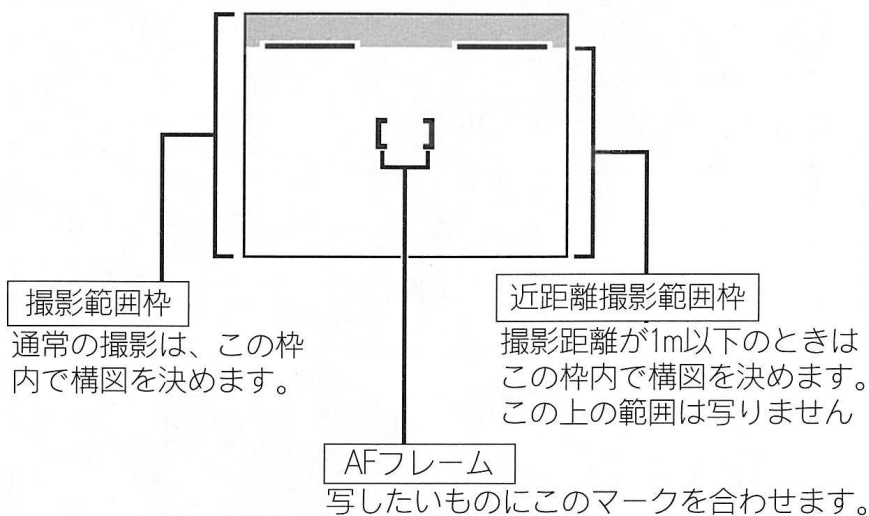
製造過程のキズ防止のために、保護シールが貼つてあります。
ご使用前にはがしてください。

2 ファインダーをのぞく

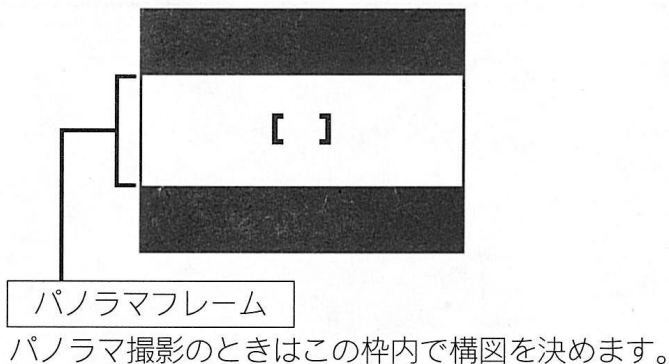
ファインダー



標準撮影のとき



パノラマ撮影のとき (24ページ)



3 写したいものの大きさを決める

ズームレバーを押して写したいものの大きさを自由に変えて構図を決めることができます。

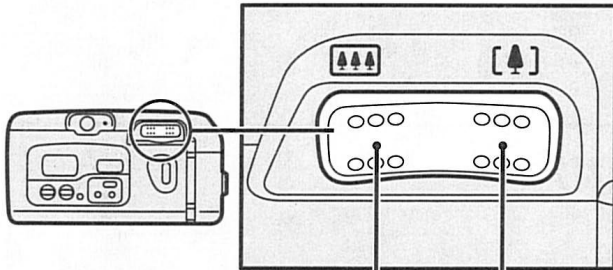


35mm (広角)



70mm (望遠)

基本編



広い範囲を
写したいとき

▲▲▲ (広角側) を押す。

風景や集合写真を撮影するときなどに使用します。

写したいものを
大きくしたいとき

▲ (望遠側) を押す。

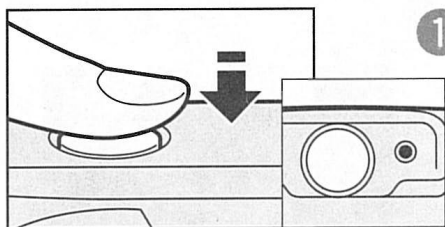
人物をアップで撮影するときなどに使用します。



●ズームレンズ (鏡筒) は繰り出されたまま約4分間放置されると、レンズ保護のために自動的に収納され広角 (35mm) にセットされます。

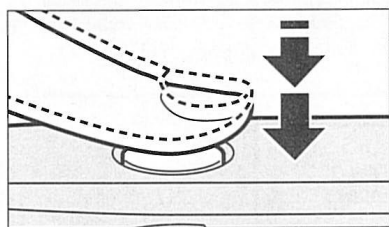
4 シャッターをきる

シャッターボタンは二段階になっています。



① シャッターボタンを軽く押す。

- シャッターボタンは押したままにしてください。
- 緑ランプが点灯したことを確認めます。

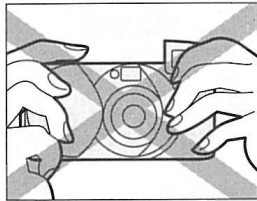
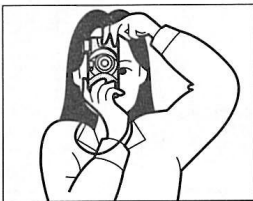


② そのままさらにシャッターボタンを押す。

- ➔ シャッターがきれます。
- ゆっくり静かに押ししてください。

カメラの構え方

シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。



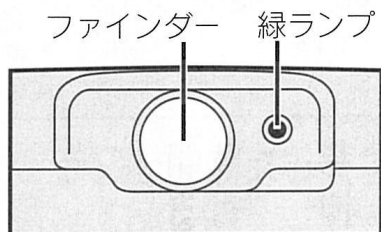
- 両手でカメラを持ちます。
- ひじを体に軽くつけます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。



- カメラを構えるときは、レンズ、AF投光部、AF受光部、測光窓、ストロボなどに髪や指がかからないように注意してください。

緑ランプについて

シャッターボタンを軽く押したときランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。



- 点灯…………… ピント合わせ完了（撮影準備完了）
- 遅い点滅（4回／秒）… 近距離警告※1
- 速い点滅（16回／秒）… 手ぶれ警告※2（ストロボOFF時）
赤目緩和ランプ点灯※3（初期約1秒間）



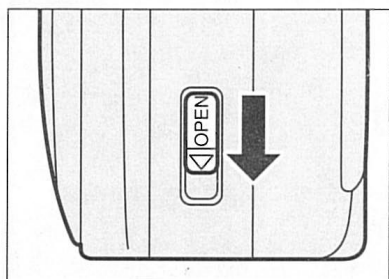
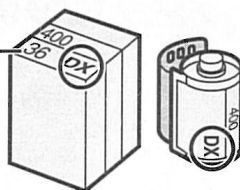
- ※1●近距離警告が出たら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直してください。
- ※2●手ぶれ警告が出たら、三脚などの使用をおすすめします。
- ※3●赤目緩和ランプが点灯している約1秒間はシャッターが切れません。

フィルムを入れる

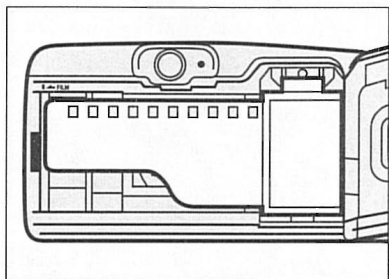
準備

- DXマークのついたフィルムを用意してください。また、撮影できる枚数を確認してください。

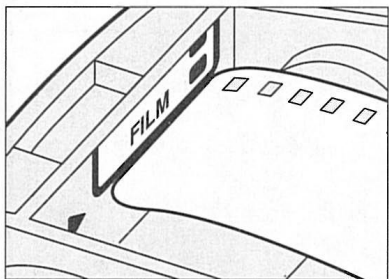
撮影枚数



- ① 背ぶた開閉ノブを押し下げる。
→ 背ぶたが開きます。

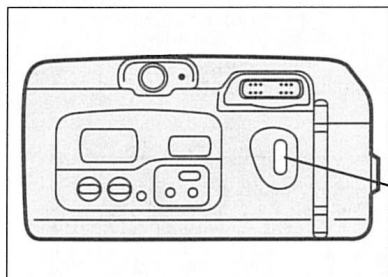


- ② フィルムを入れる。



- ③ マークの位置までフィルムを引き出す。
 - フィルムがたるまないように引き出します。

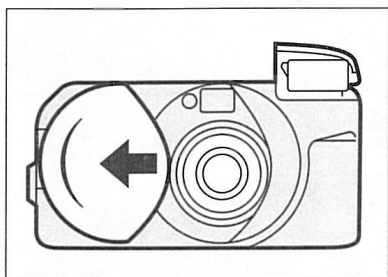
4 背ぶたを閉じる。



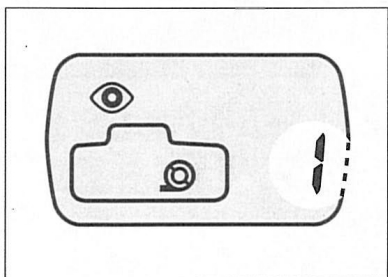
フィルムが入っていることを確認
できます。


5 レンズカバーを開く。

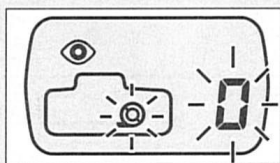
→フィルムが送られます。



6 フィルムカウンターに 「1」が表示される。



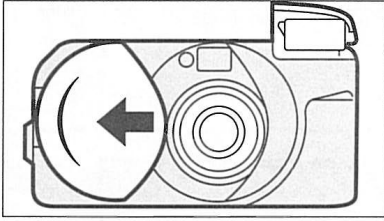
●フィルムカウンターの  と「0」が点滅するときはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直してください。



●使用するフィルムはフィルム感度ISO400をおすすめします。

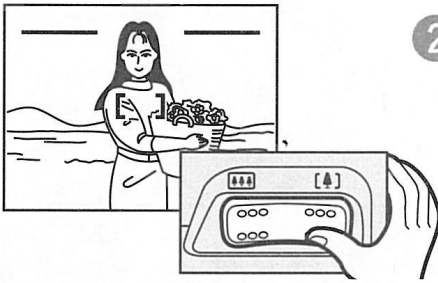
撮影する（全自動撮影）

中抜けしにくいデュアルAiAF機能ですから、中央部から写したいものがずれてもピントが合います。
全自動撮影では暗いところで撮影すると自動的にストロボが発光します。



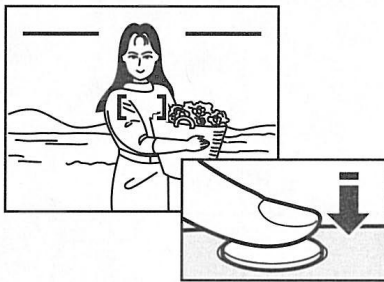
① レンズカバーを開く。

- カチッと音がするまで開いてください。
- ➔ レンズとストロボがセットされます。



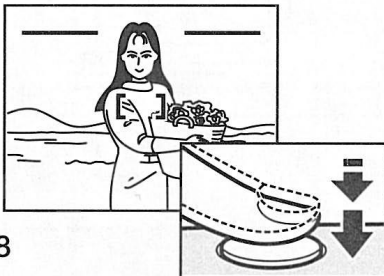
② 写したいものの大きさを決める。

- ファインダーをのぞきズームレバーを押して、構図を決めます。



③ AFフレームを合わせシャッターボタンを軽く押す。

- シャッターボタンは押しただまにしてください。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。
- 緑ランプが点滅したら →15ページ



④ そのままさらにシャッターボタンを押す。

- 暗いところではストロボが自動的に発光します。

AiAFについて

Ai=Artificial Intelligence:人工知能、AF=オートフォーカス

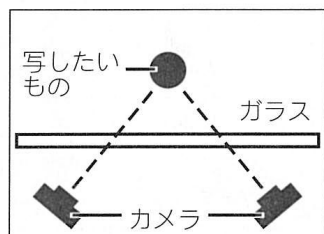
AiAFは、広い測距エリアを持ち、ピントを合わせることを的確に判断する最新のメカニズムです。これは、数千点の写真を分析し、そのデータとキヤノン独自のノウハウに基づき、開発された機能です。



- 写したいものが中央部分になくても、シャッターボタンを押すだけで写したいものにピントを合わせます。



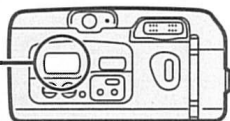
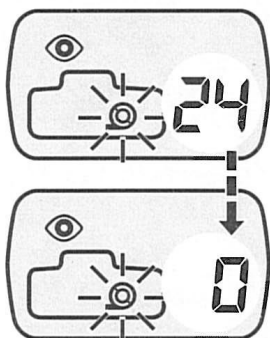
- 写したいものの手前に障害物があった場合にも的確に写したいものを選びピントを合わせます。




- ガラス越しの撮影にもガラス面にピントを合わせることなく写したいものにピントを合わせます。ガラス越しで撮影するときは、ガラス面から約20cm離れて、斜めの位置から撮影してください。

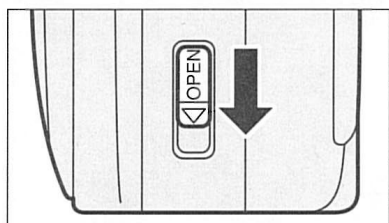
フィルムを取り出す

セットしたフィルムを最後まで撮り終わると自動的にフィルムが巻き戻ります。



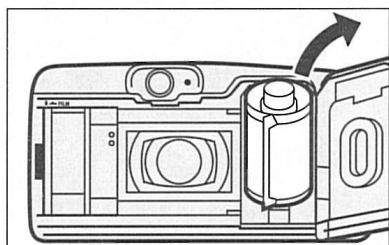
巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。

巻き戻しが終了すると、フィルムカウンターが「0」になり  が点滅します。





① 背ぶた開閉ノブを押し下げる。

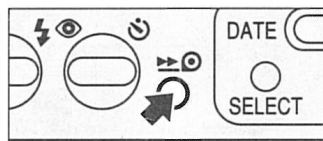
→ 背ぶたが開きます。



② フィルムを取り出す。


フィルムを最後まで撮り
終わる前に取り出すには

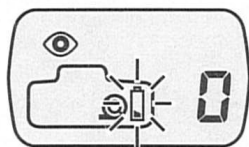
-   フィルム途中巻き戻しボタンを押します。



- 規定枚数以上撮影すると最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。また、日付や時刻の写し込みがされない場合があります。

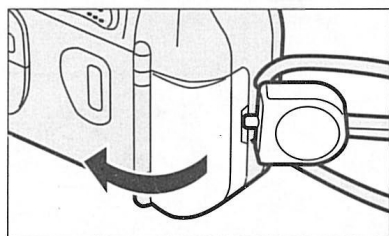
電池を交換する

表示パネルに  が点滅したときは、電池を交換してください。



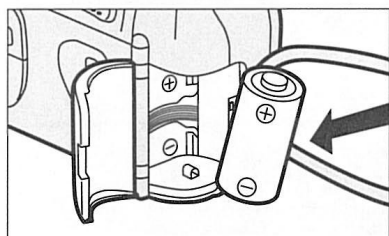
[使用電池]

リチウム電池 (CR123AまたはDL123A, 3V) 1個使用



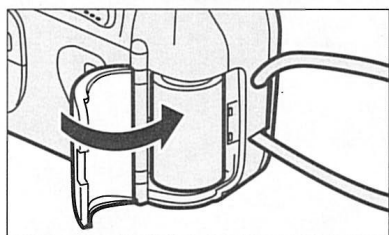
1 電池ふたを開く。

- ストラップ止め具の突起やコインなどをみぞの部分に差し込んで開きます。




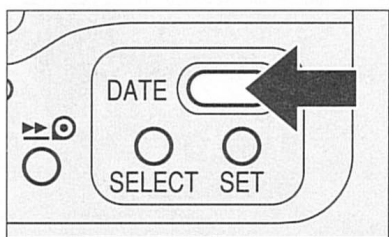
2 新しい電池を入れる。

- 古い電池を取り出し＋を正しく合わせて入れます。



3 電池ふたを閉じる。

- パチッと固定される音を確認して閉じます。
- ➔ 表示パネルの  が消えます。



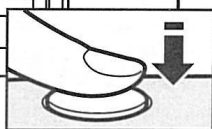
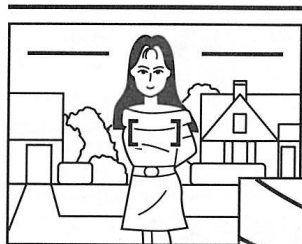
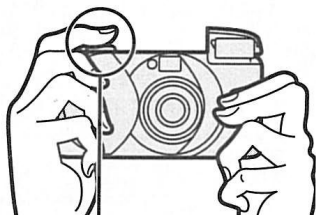
4 日付と時刻を合わせる。

→26ページ

- ➔ 表示パネルの日付が「'94 1 1」に変わります。日付と時刻をセットし直してください。

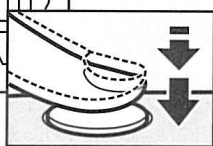
フォーカスロック撮影

写したいものをファインダーの端に配して撮影するときはフォーカスロック撮影をします。



① AFフレームを合わせ
シャッターボタンを
軽く押す。

● 緑ランプが点灯したことを
確認めます。



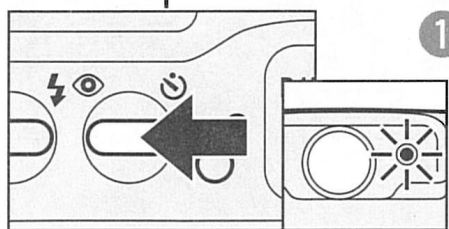
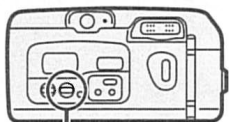
② 軽く押したまま
構図を決め、
シャッターボタンを押す。



● 構図を決めたあとに撮影距離を変えたり、ズームをしたときは、ピントが変わりますのでやり直してください。

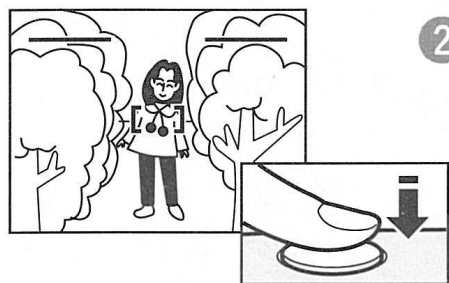
一点測距撮影

常に中央部にピントを合わせることができます。

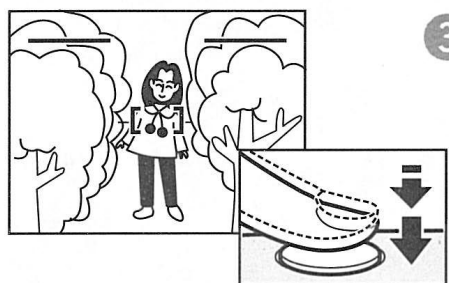


① セルフタイマーボタンを約2秒間押す。

→ 緑ランプがゆっくり点滅 (2回/秒) して一点測距になります。



② 写したいものを中央部のAFフレームに合わせシャッターボタンを軽く押す。



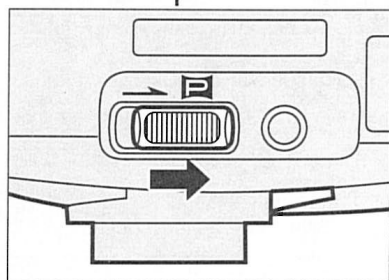
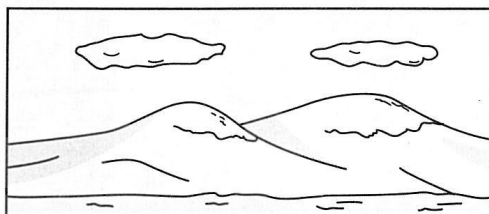
③ そのままさらにシャッターボタンを押す。

→ 1回撮影すると一点測距は自動的に解除されます。

パノラマモード撮影

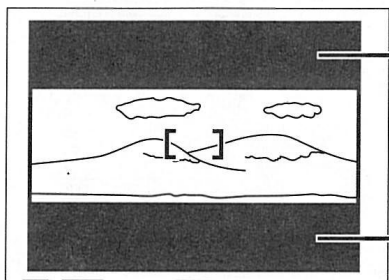
風景や集合写真を撮影するときに効果的です。
パノラマモード撮影のときは2m以上離れてください。

底面



① パノラマ側にスライドさせる。

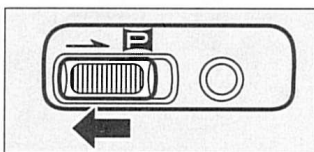
→ファインダー内にパノラママスクが出ます。



② 構図を決め、シャッターをきる。

パノラママスク

標準モードに戻すとき



元の位置に戻す。

●パノラママスクが消えます。

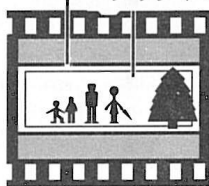


●パノラマモードでも、日付や時刻を写し込むことができます。

パノラマプリントについて

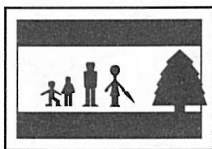
ここでいうパノラマとは、カメラ側で標準撮影の1コマ分の上下を遮断して約13×36mmの画像を写し込み、プリント段階で約12×35mmの範囲をパノラマサイズ（89×254mm）に引き伸ばすものです。

写し込まれる範囲 プリントされる範囲



パノラマモード撮影をするとフィルム上では、上下をカットした形で撮影されます。撮影枚数は変わりません。

パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。



パノラマモードで撮影したフィルムを通常のプリントにすると画面の上下に黒い帯が写し込まれます。

パノラマモード撮影をしたとき、通常の現像・プリントとは異なります。添付のパノラマシールを貼って、現像・プリントを依頼してください。

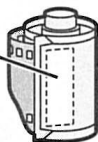


パノラマモード、標準モードの両方で撮影したとき



パノラマモードで撮影したとき

パノラマシール
貼り付け位置



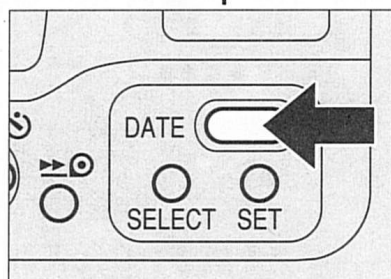
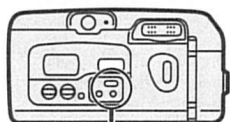
- DXコードおよびバーコードにかからないように貼ってください。
- パノラマシールが無くなりましたら、裏表紙のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。



● パノラマモード撮影したときは通常の同時プリントに比べ料金、日数がかかることがあります。

日付／時刻を写し込む

撮影した日付や時刻を写真の右下に写し込むことができます。2029年までのオートカレンダーが組み込まれ、撮影のたびに日付をセットする必要はありません。パノラマ写真にも同様に写し込むことができます。



デートボタンを押す。

➡押すたびに表示が変わります。

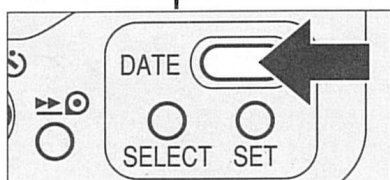


●いずれかを選び、撮影します。

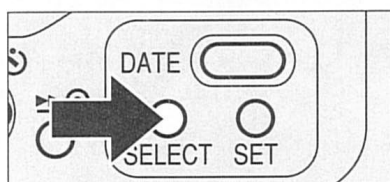
日付／時刻をセットする



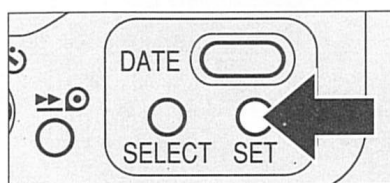
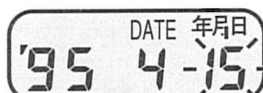
海外旅行などで日付／時刻を修正するときや電池を交換したときは次のようにセットし直してください。



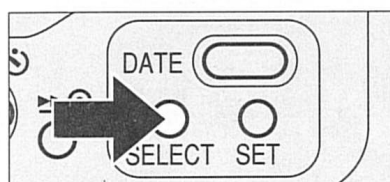
- ① **デートボタンを押す。**
●修正する日付(時刻)を表示させます。



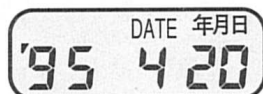
- ② **セレクトボタンを押す。**
●修正する数字を点滅させます。



- ③ **セットボタンを押す。**
●正しい数字をセットします。



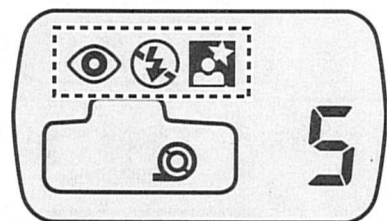
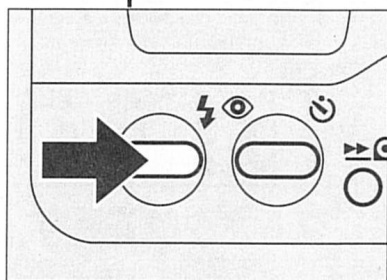
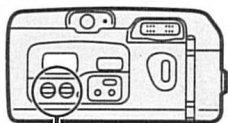
- ④ **すべての数字が点灯するまで、セレクトボタンを押す。**



- 数値セットボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。
- 電池を交換すると表示パネルの日付が「'94 1 1」に変わります。日付と時刻をセットし直してください。

ストロボモードと赤目緩和モード

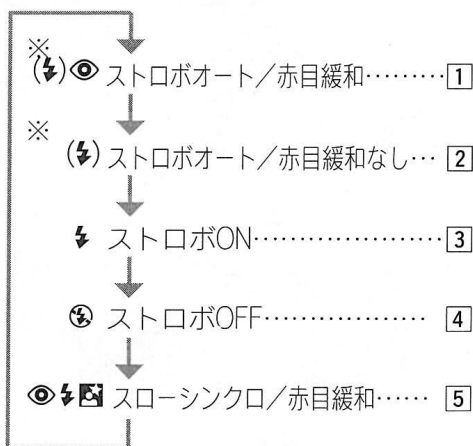
ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。写したいものや撮影場所に合わせて、モードを選ぶことができます。



モードは表示パネルで確認できます。

ストロボモードボタンを押す。

→ 押すたびに表示が変わります。



※ (⚡) ストロボオートではストロボが発光するときに ⚡ が表示されます。

ストロボの届く距離

フィルム感度	35mm (広角)	70mm (望遠)
ISO 100	0.6~4.1m	0.6~2.2m
ISO 400	0.6~8.2m	0.6~4.4m

(カラープリント用フィルム使用時)



赤目緩和撮影機能について

暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といいます。赤目緩和モードでは赤目現象が発生しやすい暗さになると、ストロボ発光の前に約1秒間、赤目緩和ランプを点灯させて赤目現象の発生を緩和します。



赤目緩和機能が働くときは

- ① シャッターボタンを軽く押すと赤目緩和ランプが点灯します。
- ② はじめの約1秒間、緑ランプが速く点滅します。
 - 緑ランプが点滅中はシャッターをきることができません。
 - シャッターボタンは押したままにしてください。
- ③ 緑ランプが点灯に変わったら、さらにシャッターボタンを押します。
→ ストロボが発光しシャッターが切れます。



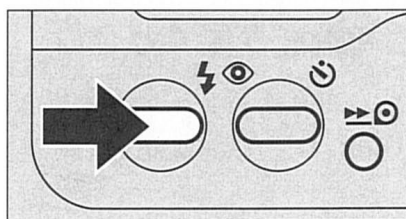
- 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
- この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人にランプを見るように声をかけてください。



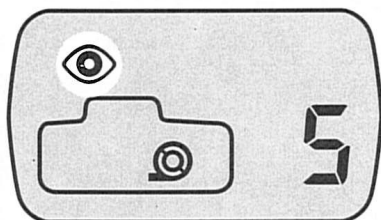
- 赤目緩和のためには次のようにすると効果的です。
- 室内は明るくする
 - 写したい人に近付いて撮る。
 - 赤目緩和ランプを見てもらうように声をかける

1 ストロボオート／赤目緩和……

ふだん、人物を撮影するときは、このモードにします。暗いときは、自動的に赤目緩和ランプが点灯し、ストロボが発光します。



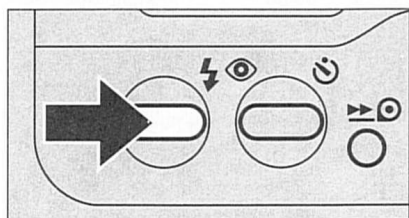
ストロボモードボタンを押して、表示パネルに  を表示させる。



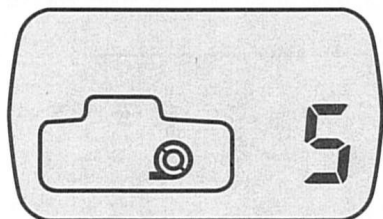
● 赤目緩和ランプが点灯すると効果を高めるために約1秒間シャッターはきれません（リリースロック）。すぐにシャッターを切りたいときは「ストロボオート／赤目緩和なし」（31ページ）で撮影してください。

2 ストロボオート／赤目緩和なし

暗いときは、自動的にストロボが発光します。



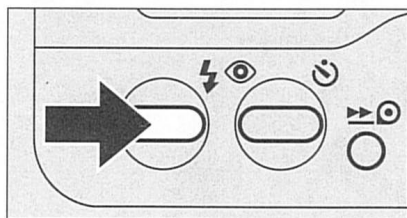
ストロボモードボタンを押して、表示パネルのモード表示を消す。



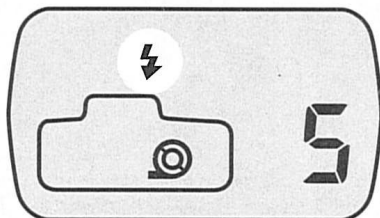
- ストロボモードが「ストロボオート／赤目緩和なし」で電源を切ると、次に電源を入れたとき「ストロボオート／赤目緩和なし」になります。また、その他のモードで電源を切ると、次に電源を入れときは、すべて「ストロボオート／赤目緩和」になります。

3 ストロボONモード..... ⚡

撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。日中の逆光時や被写体の影をやわらげるときは、このモードにします。



ストロボモードボタンを押して、表示パネルに⚡を表示させる。

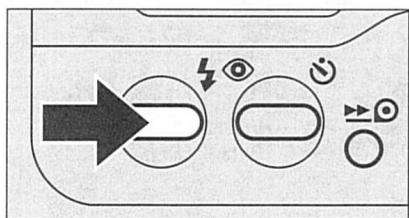


4 ストロボOFFモード……………

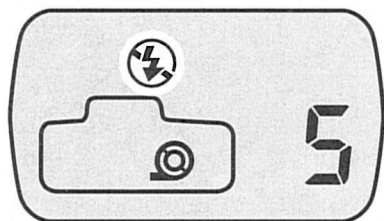
撮影場所が暗くても、ストロボが発光しません。
 夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、
 室内照明を利用したの撮影をするときは、このモードにします。



応用編



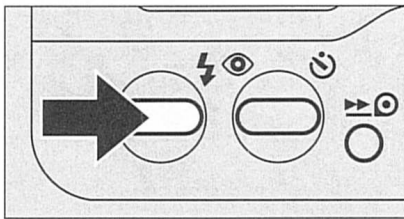
ストロボモードボタン
 を押して、表示パネル
 に  を表示させる。



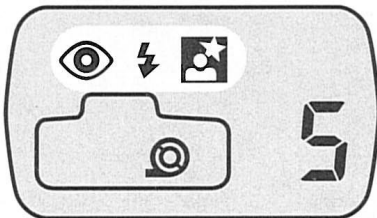
- 暗い場所では、シャッタースピードが遅くなります。
- 手ぶれ警告で緑ランプが速く点滅したときは、カメラをしっかりした台の上に置くか、三脚を利用してください。

5 スローシンクロモード……   

夕暮れや夜景などを背景にして人物を撮影するときにはこのモードにします。このモードでは、自動的に赤目緩和機能がはたらきます。



ストロボモードボタンを押して、表示パネルに    を表示させる。

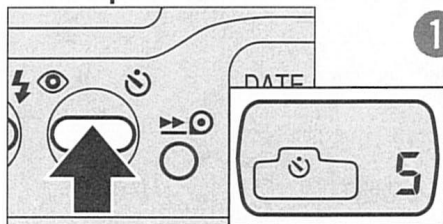


●シャッタースピードが遅くなりますので、カメラをしっかりした台の上に置くか、三脚を利用してください。

セルフタイマー撮影

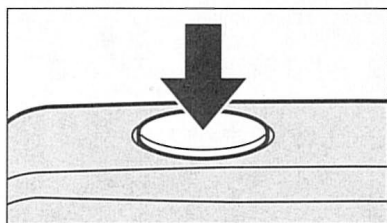


セルフタイマーを使用すると撮影者自身も写真に入ることができます。カメラはしっかりとした台の上に置くか、三脚を利用してください。



① セルフタイマーボタンを押す。

- 表示パネルに  が表示されたことを確認してください。



② 構図を決めて、シャッターボタンを押す。


- ➔セルフタイマーランプが点滅（1回/秒）し、約10秒後にシャッターが切れます。

セルフタイマーを途中でやめたいとき

次のいずれかの操作をしてください。

- セルフタイマーボタンをもう一度押す。
- レンズカバーを閉じて電源を切る。



- シャッターが切れる約2秒前になるとランプの点滅がさらに速くなります。ただし、赤目緩和機能が作動すると、シャッターが切れる約2秒前からランプが点灯します。
- セルフタイマー撮影は  が表示されている約4分間有効です。
- カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。

Q1 リバーサルフィルムは使えますか？

A1 はい、使うことができます。ただし、DXマーク付きのフィルムISO25、50、100、200、400、800、1600、3200のものを使用してください。

Q2 フィルム感度 (ISO) とは何ですか？

A2 フィルムが光を感じる度合を数字で表わしたもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO400のフィルムをお勧めします。

Q3 DXマークのないフィルムは使えますか？

A3 はい、使うことができます。ただし、DXコードのついていないフィルムを入れた場合はISO 25にセットされます。フィルム感度ISO 25またはDXマークのついていないフィルムは、フィルム室に入れ背ぶたを閉じフィルムカウンターに「1」が表示されるまでシャッターボタンを押してください。

Q4 写真に写込まれた日付が読みにくいのですが？

A4 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものができるようにしてください。また、黄色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

Q5 撮影しているレンズの焦点距離を知りたいのですが？

A5 レンズ本体（鏡筒）に35、50、70mmの表示があります。

こんなときは

「故障かな」と思っても、修理に出す前にもう一度次の表でその部分を確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
🔋 電池チェックマークが点滅する	●電池が消耗している	●電池を交換する	21
🔋 電池チェックマークが表示されていないのに動かない	●電池がはいついていない	●電池を入れる	21
	●電池が逆向きにはいつている	●電池を正しく入れ直す	21
	●電池が完全に消耗している	●電池を交換する	21
シャッターが切れない	●レンズカバーが開いていない	●レンズカバーを開いて電源を入れる	10
	●電池が消耗している	●電池を交換する	21
	●フィルムが正しくセットされていない	●フィルムを正しく入れ直す	16
	●巻き戻しされたフィルムがカメラに入っている	●フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする	16
	●赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれない。	●シャッターが切れるまで押し続ける ●ストロボモードを切り換える	29 28
写真がボケて写っている	●シャッターを切るときに、AF受光/投光部をおおっていた	●髪や指などでAF受光/投光部をおおわないように気をつける	14
	●セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した	●カメラの直前に立たないように気をつける	35
	●シャッターボタンを押すときにカメラが動いた（手ぶれ）	●シャッターボタンを静かに押す	14
表示パネルに「E」が表示される	●リセット必要時の自己診断表示	●レンズカバーを開閉する（点滅が消えないときは修理にお出してください）	10

主な仕様

- 形式……………ズーム内蔵35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ
画面サイズ……………24×36mm (標準サイズ) 13×36mm (パノラマサイズ)
レンズ……………キヤノンレンズ 35-70mmF4.2-7.8
焦点調整……………Aiアクティブオートフォーカス (1点測距可能)
撮影距離……………0.6m~∞
シャッター形式……………絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
ファインダー……………実像式ズームファインダー
倍率: 広角0.36倍 望遠0.72倍
ファインダー情報…ファインダー内: 撮影範囲枠、近距離撮影範囲枠、パノラママスク、AFフレーム
ファインダー接眼部…撮影OKランプ兼近距離警告/手ぶれ警告 (緑ランプ)
フィルム装填……………自動 (自動空送り付き)
フィルム巻き上げ…自動、一枚撮影
フィルム巻き戻し…自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
フィルムカウンター…順算式、フィルムの移動に連動 フィルム空送り不良表示あり
フィルム在否確認…背蓋フィルム確認窓あり
セルフタイマー……………電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後リリース、ボディ正面セルフタイマーランプ/赤目緩和ランプ点滅表示、フィルムカウンターに残り秒時計カウントダウン
測光作動範囲 (ISO 100) ……
全自動モード/ストロボモード:
広角: 1/30 F4.2~1/500F16 (約EV9.5~EV17)
望遠: 1/60 F7.8~1/500F19 (約EV12~EV17)
ストロボOFFモード/スローシンクロ:
広角: 1/7.3 F4.2~1/500F16 (約EV7~EV17)
望遠: 1/2 F7.8~1/350F19 (約EV7~EV17)
フィルム感度……………ISO 25~3200、DXコードにより1段ごとに自動セット
内蔵ストロボ……………低揮度自動発光式内蔵型リトラクタブルストロボ
ストロボ連動範囲…広角: 0.6~4.1m 望遠: 0.6~2.2m
(カラープリント用フィルムISO 100使用時)
広角: 0.6~8.2m 望遠: 0.6~4.4m
(カラープリント用フィルムISO 400使用時)
ストロボ充電時間…約4秒

ストロボ切り換え…ストロボモード切り換えボタンによる

- 1 ストロボオートモード：低揮度自動発光
- 2 ストロボONモード：常時発光
- 3 ストロボOFFモード：発光禁止
- 4 スローシンクロモード：常時発光

写し込み機能……………方式：液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵
オートカレンダー（西暦2029年まで、うるう年自動修正）
時計機構：常温20度以下で月差±120秒以下

写し込みデータ……………デート（4通り）

文字形式……………6×7のドットマトリックスによる

写し込みの色……………オレンジ色

電源……………リチウム電池 CR123AまたはDL123A 3V 1個

パノラマモード撮影…パノラマ標準サイズ切り換えノブにより随時撮影可能

撮影可能本数……………24枚撮りフィルム 約13本（ストロボ50%使用時）

大きさ……………123（幅）×64（高さ）×43.8（奥行）mm

重量……………240g（カメラ用電池別）

●ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。

●都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

- 1 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
- 2 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお問い合わせください。
- 3 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部
〒108 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談室（製品取り扱い方法ご相談窓口）

東京 〒108 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F） ☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

札幌 〒060 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F） ☎(011) 728-0665

仙台 〒980 仙台市青葉区一番町1-1-30（やまと生命ビル2F） ☎(022) 266-9851

新潟 〒950 新潟市紫竹山1-10-26 ☎(025) 246-8765

大宮 〒331 大宮市桜木町4-247（OSビル1F） ☎(048) 649-1450

千葉 〒260 千葉市中央区末広2-13-2 ☎(043) 268-5261

銀座 〒104 東京都中央区銀座5-9-9 ☎(03) 3573-7834

新宿 〒163-02 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F） ☎(03) 3348-4725

横浜 〒220 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F） ☎(045) 312-0211

静岡 〒420 静岡市常磐町2-13-1（トーカイビル3F） ☎(054) 253-9010

名古屋 〒461 名古屋市中区東桜2-2-1（高岳パークビル1F） ☎(052) 939-1830

金沢 〒921 金沢市玉鉾2-266 ☎(0762) 91-8710

京都 〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野の町513（京都第一生命泉屋ビル2F） ☎(075) 255-5953

梅田 〒530 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館） ☎(06) 373-8181

神戸 〒651 神戸市中央区雲井通り4-2-2（神戸いすゞリクルートビル8F） ☎(078) 291-0535

岡山 〒700 岡山市柳町2-6-25（朝日生命岡山柳町ビル3F） ☎(086) 221-8678

広島 〒730 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F） ☎(082) 240-6712

高松 〒760 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋ビル1F） ☎(0878) 23-4681

福岡 〒812 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル3F） ☎(092) 411-4173

沖縄 〒900 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F） ☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）

東京 〒140 東京都品川区東品川1-2-5（東信天王洲ビル5F） ☎(03) 3450-2731

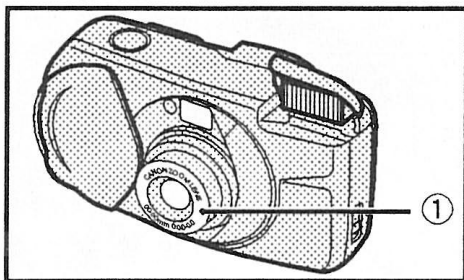
大阪 〒540 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3（大阪研修センター1F） ☎(06) 941-1076

営業所

大分 〒870 大分市城崎町1-3-31（富士火災大分ビル） ☎(0975) 37-4117

休業のご案内

新宿（第3木曜日、日曜日、祝日） その他（土・日曜日、祝日）



J お詫びと訂正

使用説明書文中 (p.11) に「保護シールが貼ってある」と記載されていますが (図①) 製造過程上貼ってあったシールは、出荷前既にはがしてありますのでそのままご使用ください。

E Correction

Please disregard the reference to a protection seal ① on page 29 of the Instructions for Use. The protection seal which was attached during production has already been removed before shipping and the unit is now ready for use.

F Correction

Veuillez ignorer la référence sur le ruban de protection ① indiqué à la page 29 du mode d'emploi. Ce ruban de protection placé pendant le production est retiré avant l'expédition et l'appareil est donc prêt à l'emploi.

S Corrección

Rogamos ignorar la referencia sobre el sello protector ① que figura en la página 29 de las instrucciones sobre el uso. El sello protector provisto durante la producción ha sido retirado antes del embarque y por lo tanto, la unidad se entrega lista para usar.